

令和7年度 第4回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年1月23日（金） 14時40分から16時00分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 藤本 桂、石川 公子、永田 真也、山内 雄一郎、杉山 勝彦、権瓶 悠
- 4 欠席委員 鈴木 仁、山田 佳敬、杉原 将吾
- 5 オブザーバー 名倉 久純（前学校運営協議会委員）
- 6 学 校 中村 竜久（校長）、田内 乃理恵（教頭）、美和 泰子（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、権瓶委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価
学校運営協議会の取り組みについて
- (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

11 会議記録

司会の美和（教務主任）から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

- ・評価結果の「児童と保護者、職員の感覚の差」が大きいことが気になる。どうしたら差が縮まるか考えていく必要があるのではないか。（藤本委員）
- ・「ふなっこ作文」を書く時間や、読書の機会が減っているという意見が気になる。書くことで気持ちが落ち着いたりすることもあるのではないかと思う。（石川委員）
- ・児童の評価のパーセンテージが高いのは、自己肯定感が高いと考えるのか、自分に甘いと考えているのか。（永田委員）
- ・タブレットを使っての学習では保護者には成果がみえにくいので、児童と保護者の結果に差があるのではないか。（山内委員）
- ・挨拶について児童の評価が高いが、学校の中なのか、学校の外なのかが気になる。学校外では挨拶が減っている印象がある。（杉山委員）
- ・挨拶の目的を、低学年のうちからしっかり伝えていく必要があるのではないか。自分の子供の様子から、本を読むことが本当に大事なのだと実感することがあったので、やはり子供たちには本をたくさん読んでほしいと思った。（権瓶委員）
- ・教員がつける評価は厳しめなのかもしれないが、児童、保護者とのギャップを埋める教育活動をしていきたいと思っている。（中村校長）

○いじめ防止基本方針に基づく取り組み状況や目標達成状況について

- ・学校での取り組みとしてやっていることとはなにか。 (杉山委員)
- 年2回いじめアンケート、月に何回かタブレットで心のアンケートを実施している。 (中村校長)
- ・当事者でないと、学校の対応がわからないと思うが、当事者はわかるので、それが高評価になっているのだと思う。 (山内委員)
- ・他校の評価はわからないが、本校の取り組みに対する評価の9割が肯定的ということは当事者や関係者の満足度の結果なのではないか。 (永田委員)
- ・いじめを認識するのは難しいと思うが、言葉で伝えられない児童にとってはタブレットが良いツールになると思うので、活用を続けていくことでよい結果につながればと思う。 (石川委員)
- ・いじめはなくなるとは思うが、学校では、クラスで班や席を替えたりすることを普段からやってくれているということなので、いじめ防止に対する対応への取り組みを引き続き行ってほしい。 (藤本委員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

- ① 「たくましさ」の深化（積極的に自分から行動したり表現したりする力を付ける）
 - ② 学校生活に彩りを与える学校行事の充実
 - ③ 運動や遊びに親しむ習慣づくりと体力の向上
 - ④ 家庭との信頼関係の構築
- について、校長より説明があり、委員の皆様へ承認頂いた。

(3) 学校運営協議会の自己評価

委員の皆様から提出して頂いた自己評価についてまとめたものを確認した。

(4) 夢育やらまいかCS 加算分の報告

- ① ゲストティーチャーや講師、ボランティアを招聘して、今年度は、認知症講座、盲導犬講座、しめ縄作り講座等を行った。
- ② 学校図書に関しては、図書ボランティア（ねこのて）へのお礼、本の購入。
- ③ 学校花壇の土や苗を購入。

その他報告事項等

- ・美和（教務主任）より、CS 担当教職員研修についての報告があった。
- ・司会から、次回会議は、令和8年5月15日（金）14時40分から会議室で開催する旨の報告があった。